

「被災と復興の証人とこれから」

十年プロジェクトも8年目の活動を終え、そろそろ着地点を意識したプログラム展開を検討する時期になりました。院生報告に合わせて、京都大学防災研究所矢守克也氏のご経験を聞き、みなさんと一緒に考えられたらと思います。

2019年

日時 **2月24日(日)**
10:30~18:00 (終了予定)

場所 **立命館大学
大阪いばらきキャンパス**

1部

B棟 2F
ギャラリー
R-AGORA

2部-3部

A棟 1F
AN 110

入場無料 申し込み不要
どなたでも参加できます

第2部
講演

被災者の語り部グループにおける アクションリサーチ

阪神・淡路大震災の被災者が結成した語り部団体に参加して二十年。防災を学ぶ大学生と教材を共同開発する試み、「デイズ・ビフォー」(1.17ではなく、1.16について語る試み)、「被災地・未災地交流」(南海トラフ地震による想定被災地との交流)などを通して、被災者の回復・復興について考えてきた経験について話します。

やもり かつや

講演者 **矢守 克也氏**

京都大学防災研究所巨大災害研究センター教授
博士(人間科学)。現在、人と防災未来センター上級研究員、語り部 KOBE1995 顧問、静岡大学客員教授などを兼務。専門は、社会心理学。主著に、「防災人間科学」(東京大学出版会)、「アクションリサーチ・イン・アクション: 共同当事者・時間・データ」(新曜社)など。



プログラム

10:30~11:30

第1部 団士郎漫画トーク

「物語る力・回復する力」

*詳細につきましては裏面をご覧ください。

14:00~15:00

第2部 講演

「被災者の語り部グループにおける
アクションリサーチ」

講師: 矢守克也氏 (京都大学防災研究所巨大災害研究センター教授)

15:10~18:00

第3部 東日本・家族応援プロジェクト2018 報告

「東日本・家族応援プロジェクト2018」
から見た被災地の今と今後に向けて

司会進行: 村本邦子 (立命館大学大学院人間科学研究科教授)

15:10~15:30 プロジェクト概要の説明と企画主旨

15:30~16:00 各地プロジェクトチームによる報告
青森県むつ市/宮城県多賀城市/宮城県石巻市/
岩手県宮古市/福島県福島市

16:00~16:10 休憩

16:10~18:00 矢守克也氏より講評と助言
ディスカッション

